

平成 26 年度 第 1 回津島市地域教育協議会 議事録

平成 26 年 5 月 12 日・月 16:00～

神守中学校 校長室

<参加者> 欠席者（城和彦、加藤哲雄、大野喜幹）

※本日は、市内全小中学校から管理職の先生方が参加。

<次第>

進行：赤田教頭

1 開会の言葉

2 教育長あいさつ（武藤教育長）

- ・地域力をもっと大切にしたい。児童生徒に地域から声のかけられる関係、地域で顔の見える関係を目指し、非行・不登校などの抑止力になればありがたい。
- ・豆ボラ神守のような組織に直ぐにはならないかもしれないが、市内各中学校区（または小学校区）でコーディネーターを設け、地域本部の目的にもあるように、教師の時間が生み出し、子どもたちに深く関わることができるようにしたい。地域の特色を生かした継続性のある地域本部を創設してほしい。
- ・各校の校長または教頭先生にも本日参加していただいたので、設立に向け分からないことは、積極的に豆ボラ神守のメンバーに尋ね、どんなことが必要か、どんなことに気をつけなければならないかなどを吸収してほしい。
- ・空き教室のない学校では、地域本部の校内設置の難しさがあるが、方法を探り、工夫をしてほしい。
- ・学生ボランティアの確保に当たり、守秘義務の徹底、保護者への周知、感染症等の予防措置などを事前に講じて対応をお願いしたい。
- ・既存の組織である P T A との連携の方法、小・中学校でやってほしいニーズなどを検討してほしい。
- ・今年度は地域本部設立に向けての予算措置がなされていないが、来年度に向け、予算計上の基礎をもってほしい。

3 本部長あいさつ（代理：相村）

- ・地域の多くのみなさまのお陰で、4年目を終えることができ、心より感謝している。
- ・地域本部のねらいを踏まえ、ボランティアの皆さんが大きな問題もなく継続できているのは、ボランティア精神の高揚やコーディネーターさんをはじめ、献身的な活動によるもの。その支援が生徒への効果をもたらし、あいさつが多くなり、環境が整い、地域の方とのコミュニケーションが広まり、地域の宝という目で見守っていただくようになってきている。
- ・教師も、本来の仕事に専念できる環境になってきており、ねらいの実現が徐々に進んでいる。

4 校長あいさつ（小林校長）

- ・教頭時代に豆ボラの立ち上げを見て、組織が根付くかを危惧していたが、2年後に戻ってきて、生徒と地域の関係が自然な感じで行われている様子を感じ、豆ボラの成長を感じている。
- ・平成 20 年度から始まった文科省の地域本部事業の経緯を図表を通して説明があり、他校の校長先生方にも分かりやすく、伝えられた。

5 協議事項

- (1) 学校支援地域本部事業の目的について・・・資料 1

(2) 平成26年度の組織について・・・資料2

①津島市地域教育協議会

※メンバーの多少の入替があり、承認された。

②豆ボラ神守（神守中学校支援地域本部）実行委員会

※この後の豆ボラ神守実行委員会で承認された。

(3) 平成26年度の事業について・・・資料3

・豆ボラ神守規約、事務局使用のルールの確認

※カギの管理と事務局使用者の記録ノート記載の徹底、個人情報の管理の徹底などの確認された。

・26年度予算について 総予算561,000円・・・資料4

(国 0円、県 0円、市 56,100円)

※国、県も地域本部事業を継続中だが、津島市は既に4年間、補助金が入れられ、事業も定着してきたとの判断から、県内の他の市町への補助金に充てるため、26年度より補助金が削られた。

※予算使途の説明があり、承認された。

・26年度事業予定・・・資料5

(4) その他

・実行委員会の今後の予定・・・資料6

※参加者の都合で、第2火曜日の設定見直しを9月以降検討することが確認された。

6 連絡依頼事項

(1) ボランティア保険の加入状況（延べ100名：H26.512現在）・・・資料7

※ボランティア登録用紙が現在100名弱提出されているが、その都度、市の保健センター社会福祉協議会へ会計担当者が保険加入手続に毎回出かけている。

(2) 他の地域団体との連携（「中学生ボラ」派遣団体から）・・・資料8

・神守校区コミュニティ・高台寺校区コミュニティ・蛭間地区コミュニティ

・神守地区自主防災会 ・神守保育園

※8月2日に蛭間コミの盆踊りがあり、今年度もお願いしたい旨が提案された。

※中学生が、いつから中学生ボランティアがあるのか、問い合わせが続いている。生徒の意欲が高まり、高校入試の面接でもボランティア活動の経験を堂々と伝えており、地域の人々とのよい交流の場になっている。

※吹奏楽部も是非、地域で披露したいというニーズがあるので、機会があれば出かけていきたいと学校側からのニーズが紹介された。

(3) 小学校からの大学生ボランティア依頼について<行事、サマースクールなど単発的なもの>

・小学校から大学生ボランティア依頼要請をする場合は、所定の用紙に記載し、神守中学校へFAXで送付→豆ボラから大学生へ一斉メールで募集依頼→返事結果に応じて各小学校のニーズに応じて紹介。支援の詳細は、直接、学生と連絡を取り合ってください。

※ボランティアの便利遣いは御法度。ギブ&テイクの心で。

7 その他

(1) 5/27 金 15:00 市生涯学習センター「学校支援地域本部事業説明会」<4中学校長対象で、全参加者数9名>

- (2) 6/9月 14:00~ウイルあいち「平成26年度少年非行防止功労団体表彰（愛知県警本部長及び愛知県少年補導委員会連合会長連名感謝状贈呈式）」 <豆ボラ出席>
- (3) 大学生ボランティア募集依頼活動（愛教大 5/16日、岐阜聖徳大、南山大（瀬戸キャンパス）、三重大）
- (4) 大学生ボランティアの小学校での支援 <単発、または継続的なもの>
- 蛭間小（夏休みワクワク学習会、野外学習1泊2日支援、運動会）
- 神守小（授業の学習支援、夏休み学習会など）
- 高台寺小（地区別学習会、町探検支援、運動会など）

【学校支援地域本部のねらいと目的】

資料1

1 教員の本来の教育活動への専念

- ①子どもと向き合う時間の確保
- ②授業準備の時間確保
- ③子どもが、経験豊富で多様な大人とふれあう機会が増大。→部活、学習、環境整備が充実
- ④多くの大人の見守りで、きめ細かな教育に！
- ⑤子どもの地域への理解やボランティアへの関心

2 地域住民の自己実現と生きがいづくり

- ①大人や団塊世代の経験を生かす場
- ②教育基本法「生涯学習の理念」に適合

【国民が人格を磨き、豊かな人生を送れるように、あらゆる機会と場所で学習でき、成果を生かすことができる社会の実現】

3 地域の教育力の育成

- ①健全育成、自然体験、社会のルールの働きかけを行うことで、教育力が高まり、地域の絆が深まり、地域が活性化する。

【平成26年度の組織について】

資料2

津島市地域教育協議会・・・（津島市単位として実施する会議）

※この事業を実施している市内の小中学校区の各代表者が集まって、お互いの校区の成果や今後の課題等の情報交換をし、各事業を推進する会議

<津島市地域教育協議会 役員>

	氏名	協議会役務	所属
1	武藤 育雄	協議会長	津島市教育委員会 教育長
2	木全 孝	市教委事務局	津島市教育委員会 指導主事
3	長谷川喜久男	豆ボラ神守 参与	蛭間地区コミュニティ推進協議会 会長
4	加藤 哲雄	豆ボラ神守 顧問	津島少年補導委員会 副会長
5	梶村 明人	豆ボラ神守 相談役	津島市学校支援地域本部アドバイザー
6	城 和彦	豆ボラ神守 本部長	JA海部東 甚目寺支店 支店長
7	大野 喜幹	豆ボラ神守 副本部長	H25神守中学校PTA会長
8	長谷川よしよ	豆ボラ神守チーフコーディネーター	H21神守中学校PTA副会長
9	山口 良子	豆ボラ神守サブコーディネーター	神守地区主任児童委員、津島少年補導委員
10	中原 宏美	豆ボラ神守 監査	蛭間町公民館管理人

11	伊藤 加代子	豆ボラ神守 会計	神守地区主任児童委員
12	服部 幸彦	蛭間小学校長	蛭間小学校 校長
13	伊藤 幸代	神守小学校長	神守小学校 校長
14	立松 徳之	高台寺小学校長	高台寺小学校 校長
15	小林 秋良	豆ボラ神守 庶務	神守中学校 校長
16	赤田由起江	豆ボラ神守 庶務	神守中学校 教頭

実行委員会 (学校単位で実施する会議) 2か月に一度開催

※各中学校区ごとの実質的な推進を図る会議 (◎各サポート担当代表が出席)

参与	長谷川喜久男		
顧問	加藤 哲雄	相談役	梶村 明人
本部長	城 和彦		
副本部長	大野 喜幹		
地域コーディネーター	チーフ	長谷川よしよ	サブ 山口 良子
庶務	市文書	小林 秋良	赤田由起江
会計	市会計	伊藤加代子	梶村 明人
監査	中原 宏美		
事務局	事務局管理	長谷川よしよ	山口 良子
	消耗品管理	中原 宏美	
	ボラ保険管理	伊藤加代子	
A 学習サポート担当	◎山口 良子	○長谷川よしよ	
B 図書サポート担当	◎松岡 克哉	○	
C 不登校サポート担当	◎那須 鈴代	○中原 宏美	
D 生活安全サポート担当	◎佐野桂一郎	○真野 直幸	伊藤 雅樹
E 環境サポート担当	◎水野 健治	○大野 喜幹	
P T A連絡担当	◎PTA代表者	○PTA母代	

神守中学校支援地域本部規約 (愛称：豆ボラ神守)

資料3

1 目的

- ①学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てることを目的とする。
- ②学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援を行う。

2 目標

- ① 子どもたちの教育をよりよいものとする。
- ② 生涯学習社会を実現する。
- ③ 地域の教育力を向上する。

3 実行委員会の役割

- ① 本事業の推進方針に関すること
- ② 本事業の実施と評価に関すること

- ③ 本事業に関わる情報の発信や意識の啓発・醸成に関すること
- ④ その他、本事業の推進に関すること

4 実行委員会の組織・役務・・・2か月に1回定例会議を実施

5 実行委員会事務局について

- ①場 所：南館1階「調理室東」に地域本部を置く。
- ②入退室：原則として、外側の掃き出し戸からの出入りする。
- ③駐車場：駐車場が空いている時は、職員室南側駐車場へ。混んでいる時は武道場東の芝生広場へ
- ④カギの管理：コーディネーター2・相談役1で管理、（教頭1セット所有）
配付カギ（事務局南、北、ロッカー、中館東昇降口、図書室）
- ⑤事務局使用上のルール

	項 目	備品一覧と使用上の注意
1	施設	水道、ガス、エアコン、扇風機、ファンヒーター（灯油式）、冷蔵庫、水屋、電気ポット等が整っているので、湯茶等は自由に（火事注意・禁煙） ※ガスは使用しないこと。
2	資料	保管はカギのかかるロッカー内へ（特に個人情報に関わるもの）
3	備品	テーブル、椅子、パソコンNET対応、コピー機、携帯電話 行事ホワイトボード、ネームカード、出勤簿等、
4	消耗品	コピー用紙（A4,B5,B4,A3）、筆記具、マジック、画用紙、模造紙、カラーケント紙、ガムテープ、セロハンテープ、クリップ、クリアファイル、紙ファイル、ホチキス、ハサミ、物差し、蛍光ペン、消しゴム、糊、修正テープ、記録ノート等、
5	その他	名刺、職員顔写真一覧、
6	掲示	情報板、広報板、宣伝板、

<平成26年度予算案>

資料4

内訳			
節	内容	単価×数量	計
諸謝金	コーディネーター謝金(2名分)	@800円×2名×132h	211,070
旅費	大学等へのボランティア依頼交通費		34,780
消耗品費	ノート・ファイル・ラベルシール等		22,893
	インクカートリッジ代		3,357
	コピートナー代		41,475
印刷製本費	ボランティア募集チラシ印刷代		20,000
通信運搬費	切手・はがき・メール便代		29,590
借料及び損料	コピー機賃借料・携帯プリペイド代		156,000

会議費			
賃金	アルバイト代	@800円 × 2人 × 40h	64,000
保険料	ボランティア保険掛け金	@300円 × 137名	41,100
雑役務費	チラシ印刷代振込手数料		735
委託費			
① 補助対象経費合計			561,000

6 実行委員会事業内容について

・・・資料5

【神守中学校のニーズ】 ★は今年度、新たに力を入れる項目

- 1 環境緑化・①中庭芝生の維持管理
 - ②武道場南側の芝生維持管理（毎日、清掃時に生徒で除草作業中）
 - ③★生徒グリーンキーパーと一緒にプランターなどの花植えと維持管理
- 2 図書・・・①図書室の環境整備
 - ※書架の本の整理・・・★生徒と一緒に実施したい。
 - ※来たくなる読んでみたくなる本の展示や飾付け
 - ※廃棄本リスト作成
 - ※5月上旬から生徒の貸出活動がスタートしている。
 - ②家庭の休眠図書の回収（新しく、最近の本で、生徒用に使えるもの）
 - ③本の修理・バーコード化、貸出業務（火・木の昼休み）
 - ※5月27日から貸出業務をスタートする。
 - ④★北館（2年生）に第2図書室の創設をスタートさせたい。
- 3 学習・・・①ドテラ（3年生対象）・・・8月下旬より開始、
 - ②月テラ（123年生対象）・・・9月より開始
 - ③学校が主体で実施する「テスト前学習相談日」の学習支援
 - 5月、8月、11月、2月も学ボラ派遣してほしい。
- 4 不登校・・・①不登校生徒親の会「be~Heart」の運営・・・現在開店休業中。
 - ②校内の適応指導教室での個別の相談指導や悩み相談、学習支援など。
- 5 生活安全・①登下校時の徒歩や自転車のマナー指導支援
 - ②生徒会主催のあいさつ運動への支援、校外指導への支援
 - ③月1回程度の校内巡回（津島少年補導委員会と共に）
 - ④風と土の会の実施
 - ⑤★地域防災活動への支援
 - ※PTAも研修委員会で講座を開催する予定
 - ※PTA・豆ボラと連携して進めていきたい。
- 6 学校行事・PTA活動
 - ①企業出前授業講師の派遣
 - ②朝礼講話
 - ③キャリア教育（2年生）への支援<大学生ボラが入って、進路や受験についてのQ&Aの対話を通して、キャリア発達を促す。 月 日（ ）予定>

7 平成26年度の事業について

	活動・事業	方法	場面・時期	担当
1	神守中学校支援地域本部事業の周知	掲示板チラシ、 本部長CCSC説明	4/18P 総会・学 年Pで	本部長,CC,SC
2	学校支援ボランティア募集 (大学生ボランティア募集)	チラシ、口コミ 募集依頼	P 総会へ 大学へ	本部長, CC,SC
3	ボランティアスタッフの募集 チラシの公共機関等への設置	チラシ配付 口コミ ヨヅギヤ、市民協働部、 生涯学習Cへ設置	神守地区全戸 配付	本部
4	豆ボラ通信 (夏と正月)	チラシ、口コミ 神守中HP→豆ボラHP 社福の広報、		本部
5	地域本部実行委員会 津島市地域教育協議会	メールまたは派遣依頼 で開催案内送付	2か月1回 年2回	本部
6	ボランティアミーティング (年2回)	5月17日・土・13:30 月 日・土・13:30	春 秋	本部 本部？
7 学 習 支 援	ドテラ(土曜9:30~)中3対象 月テラ(月曜15:00~)全学年対象 各定期テスト前学習相談日(全 学年)支援	学ボラ 学ボラ 教師支援	8月下旬~ 9月~ 5,8,11,2月	学習
8 図 書	新刊本のバーコード化 本の貸出・管理(火・木) 季節の飾り付け 家庭の休眠本の回収 第2図書室の設置準備		随時 5月末~ 随時	図書
9 環 境	①中庭芝生の維持管理 ②武道場南側の芝生維持管理(毎 日、清掃時に生徒で除草作業中) ③生徒グリーンキーパーと一緒に プランターなどの花の管理	5月下旬か6月上旬	随時	環境
10 生 活 安 全	生徒会主催あいさつ運動参加 校外指導交通マナー 校内巡回(津島補導委員と) 護身術等の指導 風と土の会 地域防災	13:30~14:00	7,8月 毎月1回 月 月 月	生活安全 教師対象 全ボランティア
11 不 登 校	相談事業 親の会(be~heart)	随時 毎月1回		不登校
12 学 校 行 事	外部講師による講演	・キャリア教育 ・職場体験学習 ・講話	随時 朝礼時	学校行事

13 部 活 動	外部コーチ依頼 26年度も、学校側で担当！（現在、8名活動中） ★ボランティア保険のみ加入する。（名簿作成）		学校側で
	子どもたちが 地域へボランティアに！	各コミュニティ等との 連携	CC,SC 学校担当者

実行委員会の今後の予定（以下の日程で）

・・・資料6

月		第2火	地域教育協議会	実行委員会
5	12月		第1回地域教育協議会16:00～	第1回実行委員会17:00～
5	17土		春のボランティアミーティング13:30	←事務局で
7		8		第2回実行委員会19:00～
9				第3回実行委員会19:00～
11	土		秋のボランティアミーティング13:30	←事務局で
11				第4回実行委員会19:00～
1				第5回実行委員会19:00～
3			第2回地域教育協議会16:00～	第6回実行委員会17:00～

※9月以降は、曜日の検討を行う。

ボランティア登録者・担当者別人数（総数100名、現在集計中）

・・・資料7

担当		人数	(人数)	大学名
学習支援ボラ	大学生ボラ	名	院2() 院1() 大卒() 大4() 大3() 現役講師() 退職教諭() 塾講師() その他()	愛知教育大、岐阜聖徳学園大 名城大、同朋大、 金城学院大、椋山女学園大、 愛知淑徳大、愛知県立大、 愛知工業大、南山大、 愛知みずほ大、名古屋文理大、 愛知大、滋賀大、
	スタッフ	名	保護者()、卒業生保護者()	
図書支援ボラ	スタッフ	名	保護者()、卒業生保護者()、地域()、学ボラ()	
環境支援ボラ	スタッフ	名	保護者()、卒業生保護者()、地域()学ボラ()	
不登校支援ボラ	スタッフ	名	保護者()、卒業生保護者()、学ボラ()	
生活安全・ その他のボラ	スタッフ	名	保護者()、卒業生保護者()、地域() 学生()	

中学生ボランティア依頼状況（5.12現在）

・・・資料8

月	日	曜	行事名	主催団体	参加者数	活動内容
---	---	---	-----	------	------	------

8	2	土	蛭間地区コミュニティ 盆踊り	蛭間地区コ ミュニティ	詳細は後日	

※今後、各地区コミュニティ総会後に、依頼がある予定